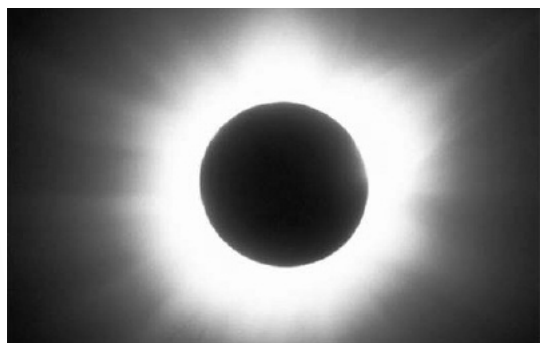


平成21年7月1日
(2009)
第98号
毎月発行
編集
公民館だより編集室
発行
西東京市公民館

西東京市 公民館だより

田無公民館 南町5-6-11 TEL 461-1170	柳沢公民館 柳沢1-15-1 TEL 464-8211
芝久保公民館 芝久保町5-4-48 TEL 461-9825	ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 TEL 424-3011
谷戸公民館 谷戸町1-17-2 TEL 421-3855	保谷駅前公民館 東町3-14-30 TEL 421-1125

7月22日、
太陽から
目が離せない!



国際連合、ユネスコ、国際天文学連合は、2009年を「世界天文年」と定めています。これは、ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡で月や木星を観測した1609年から400年目であることに由来しています。また、アポロの月面着陸から40年でもあります。もうすぐ七夕。夜空を見上げる人も多いのではないのでしょうか。

多摩六都科学館の高柳館長にお話を聞きました。

宇宙を解き明かすのは
あなた
今年
は世界天文年



今年、7月22日に一大イベントが起こります。日本全国で日食が見られます。日食とは、月が太陽の顔を横切るために、月によって太陽の全部（皆既日食）または一部が隠される現象です。国内では、南方のトカラ列島などで皆既日食となります。

「東京では、9時55分頃から12時30分頃にかけて部分日食を見ることが出来ます。東京では11時12分頃、最大食分0.749（約4分の3まで）が太陽に入り込むことになります。ただし、観察には、必ず日食グラスのような専門用品を使用してください。黒い下敷きや感光したフィルム、煤けたガラスなどでは眼を傷めます。」



光エネルギーを大量消費する都市の夜

900km上空からの夜の地球の姿をつなぎ合わせた写真 ©NASA

こもれびの変化に注目 日食が織り成す自然の不思議

「多摩六都科学館では、7月22日、日食観察会を予定しています。また日食時には、ピンホールの原理で、地面にうつる太陽が三日月形に変化していく様子を観察することが出来ます。」

みなさんも今からこもれびのある場所を探しておいて、当日は記念撮影してみてくださいはいかがでしょうか。

わがまちから 星を眺める

「このあたりの天体愛好家の方々は、八ヶ岳などに行って観測を満喫しているようです。」

さすがに、市内からは一等星が見える程度です。

光害（ひかりがい）という言葉があります。家庭や会社、工場、街灯、お店から出る、過剰で不要な光で夜空が明るくなり、天体観測に障害を及ぼしたり、生態系を混乱させたり、エネルギーの浪費の一因となつたりしている指摘されています。日本で不適切な街灯の使用により、一年間に無駄にされるエネルギーは電気代に換算して少なくとも2千億円相当にのぼるとい試算があります。

科学館も8月に、田無タワーなどの協力で「カウントダウンでライトダウン」と掲げたイベントを持ちます。

☆多摩六都科学館・夏のイベント

- ・日食観察会 7月22日(水) 9時30分〜12時30分 ※自由参加
- ・車での来館は遠慮ください。
- ・太陽とあそぼう 7月25日(土)〜8月31日(月) ※自由参加
- ・カウントダウンでライトダウン 8月8日(土) 19時〜20時30分 ※事前申込 7月25日必着

問合せ ☎042-699-6100
多摩六都科学館

サークル訪問 シャンソン ラ・メール



「ラ・メール」フランス語で海の意は17年前に、「この街にシャンソンを」と掲げて創設されました。当時は参加者3〜4人。それが現在は22人の団体に成長しました。木曜の夜、柳沢公民館で活動しています。

この日の練習では、はじめに「パリは不思議」という曲を唱っていました。指導をする原千晃先生のピアノに合わせ1曲通して歌ってみます。後半では、1人ずつ順番に歌うレッスンもあります。

女性が多数を占める中、男性メンバーは3人。その内の1人会長の山岸さんは語ってくれました。

「上手下手関係なく、シャンソンの好きな人が集まっています。みんなで歌うと楽しいですよ。もう1人の男性メンバーの英さんは、「もともとシャンソンに限らず歌が好きだったんです。」

創設の中心メンバー、三宅さんはシャンソンの魅力について「おしゃやかな言葉で人生を語っているじゃない？」とニコリ。「年齢を重ねるにつれ、歌には

どんどん深みが増していく気がします。人生経験が豊かになるのかしら？ それにシャンソンは、語って演じる、という要素が強い音楽だからなんじゃないか。」

今年から加わった見玉さんは「コーラスとは違って、一人で自由に歌の世界を楽しめる、自分なりにアレンジできるところが魅力。やればやるほど難しいです。歌う以上は上手になりたいと思うので一生懸命に練習しないと……」

原先生は「シャンソンには、起承転結があり、恋愛・人生・戦争を歌っているものが多い。30年前の曲であっても、今も通用するものばかり」と熱く語ります。

レッスンする曲は、昔からのスタンダードなシャンソンが中心です。毎年こもれびホールで行われている発表会を目標に練習に励んでいます。また、柳沢公民館のロビーコンサートにもしばしば出演、次回は12月の第19回ロビーコンサートに参加予定です。

連絡先 三宅 ☎463-3458

